



2026 年 9 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社ティアフォー
代表者名 代表取締役 CEO 加藤 真平
(コード番号：593A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役 CFO 阪口 聡志
(TEL. 03-4520-2315)

グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（大型実証 非 ASEAN 加盟国）

採択に関するお知らせ

当社は、2026 年 9 月 4 日付、経済産業省が推進する令和 7 年度補正「グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（大型実証 非 ASEAN 加盟国）」に係る間接補助事業者として採択されましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 補助事業の内容

① 事 業 名 称	サウジアラビア王国／日本発オープンソースで切り拓く自動運転バスの実証事業
② 概 要	当社が開発をリードするオープンソースの自動運転ソフトウェア「Autoware」をベースに、日本国内での実績を有する自動運転技術をサウジアラビア特有の環境へ適合させる実証事業。 本事業は、現地パートナーとの協業体制を確立し、自動運転バスの現地商流構築と社会実装を推進することで、当社のグローバル展開という長期成長ビジョン及び経営戦略の実現に寄与する取り組み。
③ 補 助 対 象 経 費	実証実験に係る機械設備費及び車両構築費、データ収集及び AI モデル学習費用等
④ 補 助 対 象 経 費 申 請 額	6,000 百万円（予定）
⑤ 補 助 率	補助対象経費の 2/3（予定）
⑥ 実 施 期 間	補助金交付決定日～2029 年 12 月 31 日迄（予定）

詳細は、経済産業省のホームページをご覧ください。

「令和 7 年度補正「グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（大型実証 非 ASEAN 加盟国：一次公募）」に係る間接補助事業者の採択結果について」（2026 年 9 月 4 日付）

<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/saitaku/2026/s260904002.html>

2. 本件の意義

当社は、サウジアラビアの国家戦略「Saudi Vision 2030」における「公共交通の 15%、物流の 25%を自動化する」という目標や、リヤド万博に向けたスマートモビリティ導入に伴う市場需要に応える

べく、中東地域における自動運転技術の社会実装を推進いたします。現地の産業育成政策を背景に、現地パートナーと実証および事業化を見据えた連携体制を構築し、オープンソース技術を活用した持続可能な事業基盤の確立を目指してまいります。

また、本事業を通じて現地の新たな道路・環境条件におけるデータ収集や学習を進め、その成果を当社の自動運転 AI モデルに還流させることで、コア技術のグローバルな適用力の向上が見込めます。さらに、現地適合された自動運転車両の構築といった技術的な成果に加え、本事業を通じて確立するビジネスモデルおよび協業体制は、欧米をはじめとする他国展開の基盤となるものであり、当社のグローバル市場における競争力強化および中長期的な企業価値の向上に繋げてまいります。

3. 今後の見通し

本件の事業期間は補助金交付決定日から 2029 年 12 月 31 日までを予定しており、中長期的な視点から段階的な実証と事業化を進めてまいります。具体的には、2027 年に自動運転バスの構築および AI モデルの学習及び強化を開始し、2028 年にサウジアラビア現地の閉鎖空間における走行実証を経て、2029 年以降は段階的に ODD（運行設計領域）を拡張し、現地プロジェクトでの実証を行う計画です。この一連の活動を通じ、自動車メーカーや現地の交通事業者等との協業体制を深め、将来的な自動運転車両の商業運行に向けた事業モデルを構築し、中長期的な業績および企業価値の向上に繋げてまいります。

なお、本件は当該補助事業における採択の通知を受けたものであり、正式な補助金の交付決定および交付額については後日確定する予定です。また、本件が 2026 年 9 月期の業績に与える影響は軽微ではありますが、来期以降の利益貢献を見込んでおります。2027 年 9 月期の業績予想につきましては、本件の影響を織り込んだ内容で開示する予定です。

以上